

あなたとつなぐ

甲賀  
こうか

市議会だより

KOKA city assembly report

令和4年(2022)02.01 vol.69



## Contents

- 02 【新議員紹介】今年の抱負
- 06 12月定例会議案審議ピックアップ
- 09 常任委員会日誌
- 12 一般質問／市の考えを問う
- 20 議会のしくみ／広報広聴
- 23 【シリーズあなたとつなぐ】こども議会

PHOTO [令和4年成人式]

新しく選ばれた24名の市議会議員を紹介します

『今年の抱負』

昨年11月、議会は新たな歩みをはじめました。明けた壬寅の歳、「歩」の思いを抱き、議会活動を原点・住民活動に置き、歩みを一歩・一指進めます。時に際しては、虎の故事に沿い「虎は千里往って千里還る」勢いを忘れずに。



**議長**  
たなか よしかつ  
田中 喜克 (71歳)

無会派 当選3回 水口町

今回発足した広報広聴委員会に力を注ぎます。特にSNS発信などデジタル技術を導入し、幅広い世代にリアルタイム発信します。また、広聴機能を充実し、市民の皆様の声に耳を傾け、議会での政策提言に繋げていきます。



**副議長**  
さとみ あつし  
里見 淳 (54歳)

誠翔会 当選2回 信楽町



当事者・等身大の見地から希望あるまちづくりに貢献できるよう頑張ります。

きただ れいこ  
北田 麗子 (35歳)

無会派 当選1回 信楽町

子どもは未来！甲賀に進風を起こすために、あなたの声を聴かせてください。

ふくい すずむ  
福井 進 (58歳)

無会派 当選1回 甲南町



公助の役割を認識し、市民の声を市政に反映させる役割を果たします。

にしやま みのる  
西山 実 (61歳)

日本共産党 当選1回 水口町



「教育は人づくり」「小さな声を大切に」「現場主義」を貫き、活動します。

きむら まさお  
木村 眞雄 (61歳)

公明党 当選1回 甲賀町



主役は市民であるということを念頭に置き、精励恪勤に議会に取り組みます。

なかじま ゆうすけ  
中島 裕介 (43歳)

誠翔会 当選1回 甲賀町

初心忘れず、幅広い世代の声を市政に届ける橋渡しの役目を努めます。

おくむら のりお  
奥村 則夫 (46歳)

誠翔会 当選1回 土山町



コロナで生活が様変わり、本当に大切にすべきものは何か見定めて参ります。

にしだ まこと  
西田 忠 (57歳)

凜風会 当選1回 水口町



市民の皆様が求める政策と課題を共有して、問題提起と市政精査に努めます。

せこ いくじ  
瀬古 幾司 (69歳)

凜風会 当選1回 甲賀町



未来を担う当事者として、フレッシュな視点で現在そして未来に挑みます。

にしむら けい  
西村 慧 (26歳)

凜風会 当選2回 甲南町



皆様にとって平穏無事な日常の幸せを取り戻せる様に力を尽くします。

いとめ まさき  
糸目 仁樹 (43歳)

無会派 当選2回 甲南町



市民に寄り添い、その声を議会へ届ける役割をしっかりと果たしてまいります。

おかだ しげみ  
岡田 重美 (60歳)

日本共産党 当選2回 土山町



市政を注視し市民の声を聴き、より良き市になるよう懸命に尽力します。

ほり いくこ  
堀 郁子 (55歳)

公明党 当選2回 水口町



寅年にちなみ、市民皆様と共に成長する年に、成長・演じる甲賀市に全力で。

おぐら つよし  
小倉 剛 (62歳)

誠翔会 当選1回 土山町



今日まで議会の役割を強く意識してきました。三期目も政策提案に努めます。

はやしだ ひさみつ  
林田 久充 (68歳)

凜風会 当選3回 水口町



市の発展と市民の健康、子どもたちの健やかな育ちをめざして頑張ります。

はしもと ひさのり  
橋本 恒典 (60歳)

凜風会 当選4回 甲賀町



地道にコツコツと粘り強く一歩一歩前進。新聞記者の経験生かして引き続き頑張ります。

やまおか みつひろ  
山岡 光広 (69歳)

日本共産党 当選5回 甲南町



誰ひとり取り残さない生活者の灯台めざし、共創で持続可能なまちづくりを。

たなか まさゆき  
田中 将之 (60歳)

公明党 当選3回 信楽町



「市民の皆様役に役立つこと」全てこの1点を判断基準として活動いたします。

えびすわき ひろし  
戎脇 浩 (61歳)

誠翔会 当選3回 水口町



明日の甲賀市のために、将来のビジョンを描きながら責務を全うしていきます。

おがわ ふみと  
小河 文人 (66歳)

誠翔会 当選3回 信楽町



頑張った人が報われ、頑張りがれなかった人は救われる。人に優しい政治を目指す。

たになが けんじ  
谷永 兼二 (61歳)

凜風会 当選4回 信楽町



市民の皆様の声を十分にお聞きし、市政発展のため、誠心誠意尽くして参ります。

たなか あらと  
田中 新人 (72歳)

凜風会 当選5回 水口町



納得できる夢ある計画施策を市民皆様の前向きな挑戦で真の豊かさ実現の年に。

はしもと りつこ  
橋本 律子 (72歳)

凜風会 当選6回 甲南町



【任期】令和3年11月1日から令和7年10月31日

議席番号順に掲載しています。

# 新しい常任委員会等の構成が決まりました

任期 2 年 ○は委員長、◎は副委員長（部会長）

## 議会運営委員会



田中 新人	岡田 重美	谷永 兼二	◎林田 久充	○戎脇 浩	小河 文人	堀 郁子	橋本 恒典
-------	-------	-------	--------	-------	-------	------	-------

## 総務常任委員会



瀬古 幾司	堀 郁子	谷永 兼二	◎小河 文人	○岡田 重美	西村 慧	福井 進	奥村 則夫
-------	------	-------	--------	--------	------	------	-------

## 広報広聴委員会

戎脇 浩	堀 郁子	小倉 剛	岡田 重美	◎瀬古 幾司	◎西田 忠	木村 眞雄	西山 実	北田 麗子	◎谷永 兼二	◎里見 淳	◎廣報部会
橋本 律子	山岡 光広	林田 久充	◎糸目 仁樹	◎西村 慧	◎奥村 則夫	◎中島 裕介	◎福井 進	◎田中 將之	◎廣聴部会		

## 厚生文教常任委員会



橋本 律子	木村 眞雄	山岡 光広	◎田中 新人	◎戎脇 浩	北田 麗子	中島 裕介
-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------

## 公立甲賀病院組合議会議員

副議長 戎脇 浩

橋本 律子

瀬古 幾司

田中 將之

西山 実

## 甲賀広域行政組合議会議員

議長 田中 新人

山岡 光広

西村 慧

里見 淳

◎監査 小河 文人

## 産業建設常任委員会



小倉 剛	◎糸目 仁樹	林田 久充	◎橋本 恒典	◎西田 忠	田中 將之	西山 実	里見 淳
------	--------	-------	--------	-------	-------	------	------

## 予算決算常任委員会

橋本 律子	谷永 兼二	戎脇 浩	橋本 恒典	◎里見 淳	堀 郁子	◎糸目 仁樹	◎西田 忠	◎中島 裕介	◎西山 実	◎北田 麗子	◎田中 將之
田中 新人	小河 文人	山岡 光広	林田 久充	◎小倉 剛	◎岡田 重美	◎瀬古 幾司	◎奥村 則夫	◎木村 眞雄	◎福井 進	◎西村 慧	

### 誠翔会

6名  
◎戎脇 浩

### 凜風会

8名  
◎林田 久充

### 会派構成

◎会派代表

### 会派に所属しない議員

4名

### 公明党

3名  
◎田中 將之

### 日本共産党甲賀市議員団

3名  
◎山岡 光広

# 11 月臨時会議案審議

11月臨時会は、11月9日に開催し、専決報告2件、議案人事及び、一般会計補正予算の審議が行われました。

## 議案人事

### ◆正副議長

議長 田中 喜克  
副議長 里見 淳

議長と副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。議長は議会を代表し、議場の秩序維持、議事進行などを行います。副議長は議長が不在の時などに議長の代わりを務めます。正副議長ともに、議場において所信表明会を行ったうえで、議員全員による投票で選ばれました。

### ◆議会選出監査委員

監査委員 谷永 兼二

監査委員は、普通地方公共団体の財務や事業について監査を行う執行機関です。

主に財務に関する事務について、法令に違反していないか、効率的に行われているかを監査し、その結果を住民に広く知らせます。

甲賀市の監査委員は、識見を有する者から選任される代表監査委員1名及び市議会議員から選任される委員1名で、市長が議会の同意を得て選任します。住民の福祉の増進に努めるとともに最小の経費で最大の効果をあげられているか監査します。

その他、常任委員の選任、議会運営委員の選任に引き続き、甲賀広域行政組合議会議員、公立甲賀病院組合議会議員の選挙が行われ、各5名の議員を選出しました。



## PICK UP

議案第88号 一般会計補正予算（第7号）

# 子育て世帯くらし応援特別給付金給付事業 地域経済好循環創出事業などを審議

子育て世帯くらし応援特別給付金給付事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯に対し、市単独で支援を行うものです。

国の子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）、子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）の支給対象者に対して、1世帯あたり5万円、児童1人あたり1万円を加算するものです。申請は不要です。

地域経済好循環創出事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態措置等により深刻な影響を受けた市内中小企業等の事業継続を支援するものです。

その他、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の体制整備に必要な経費を追加しました。

### 主な質疑

Q特別給付金の支給時期は。対象者への通知は。

A年内支給を目指して、12月中旬

までに支給決定通知を送付する。

Q7万人のワクチン接種の予約受付の工夫は。集団接種の会場と個別接種のすすめ方は。

A順次接種券を送付し、予約が集中しないようにする。コールセンター1人数を2名増やし10人へ。ワクチン接種は、集団接種と個別接種を兼ね備えて実施する。

Q地域経済好循環創出事業の交付の仕方は。

A滋賀県事業継続支援金の交付決定通知をもとに、市が交付する。

### 討論・採決

討論はなく、全員賛成で可決



集団接種会場の水口体育館

# 12月定例会議案審議 (条例)

改選後初めての定例会となる12月定例会は、令和3年11月29日から12月22日までの会期で、新規条例1件を始め条例改正5件、人事案件2件、補正予算10件、その他(指定管理者の指定2件、市道路線の認定2件)、また議員提案の意見書案3件を審議、議決しました。特に一般会計補正予算に関しては、新型コロナウイルス感染症に関わる市内経済対策に加え、子育て世帯臨時給付金支給事業においては、市の方針に対応するため、定例会中に2度の追加議案を審議し、年内支給に繋がりました。



当初議案一覧

## PICK UP 1

議案第91号 情報通信技術を活用した

行政の推進に関する条例の制定

### 新たにデジタルによる手続きを可能とするための新規条例

国の進める行政手続きのデジタル化に伴い、デジタル手法が適用されない条例等に基づく手続きについて、書面等の手続きに加えデジタルによる手続きを可能とするよう新規に条例を整備するものです。

#### 主な質疑

**Q** 目的として、行政運営の簡素化及び効率化とあるが、具体的には何か。

**A** 書面手続きに必要な添付書類が削減できることで、申請者の負担軽減となり、また発生する行政事務も削減できる。

**Q** 情報セキュリティは担保されているのか。

**A** 条例内で安全性及び信頼性に努めるとしているほか、国のガイドラインに則り、安全性の基準を定め、基準を満たしたシステムの導入を行っている。

#### 反対討論

個人情報が集まれば集まるほど漏えいリスクは高まり、個人情報を完全に守り切るシステムの構築



手続きのオンライン化が進みます

は不可能である。デジタル格差拡大や対面手続きの縮小などへの懸念も残る。利便性向上の反面多くの課題があることから反対。

#### 賛成討論

申請、届出等手続きに係る関係者の利便性の向上、行政運営の簡

## PICK UP 2

議案第95号 開発許可の基準等に関する条例の

一部を改正する条例の制定

### 空き家の利活用のため、指定区域内の賃貸を可能とするもの

都市計画法改正に伴い、市街化調整区域内の災害ハザードエリアにおける開発許可の厳格化。

また地域コミュニティの維持及び地域資源である空家の利活用を図るため、市街化調整区域内の指定区域において空家の賃貸利用を可能とするために、条例を改正するものです。

#### 主な質疑

**Q** エリア内に自宅等がある方の建替え等も規制の対象となるのか。

**A** 今回の法改正以前に建築された建築物の建替え、一定範囲内の建て増しは可能である。

素化、効率化が図られ、それにより市民生活の向上に繋がると理解した。また情報格差や個人情報保護についても必要な対策を講じることを確認したことから、賛成。

#### 採決

賛成多数にて可決

**Q** 空家の賃貸が可能となることによる効果をどのように考えているか。

**A** 賃貸が可能となることで、空家の利用促進に繋がり、また高齢化や人口減少が加速する市街化調整区域内においては、地域コミュニティの維持に役立つものと考えている。

#### 討論・採決

討論はなく、全員賛成で可決



今後は貸店舗など空き家も賃貸が可能になります

# 12月定例会議案審議 (予算)

PICK UP 3

議案第97・108・109号  
一般会計補正予算 (第8〜10号)

## 新型コロナウイルス感染症対策ほか、 緊急課題に対応する予算を可決

### 新型コロナウイルス感染症 対策関連

#### 子育て世帯臨時特別給付金

14億9176万円

国の施策を受けて、18歳以下の子ども一人あたり10万円を支給。国からの通達に応じ、定例会中に一般会計補正予算第9号・10号が上程され、議

会日程を追加しながら、審議しました。令和3年中の年末に一括支給を可能とするよう、議決を早めた対応を行いました。



#### プレミアム商品券発行事業

1億6950万円

市内の飲食店・宿泊施設・酒類販売店で利用できる商品券5千円分を4千円で販売。

### 主な質疑

Q 見込む効果は。

A 事業継続と雇用の維持を期待。

Q スケジュールは。

A 5月中旬より販売し、6月から3〜4か月の利用期間を想定している。

#### キャッシュレスポイント還元事業

1億2200万円

市内店舗でQRコード決済した場合、最大25%をポイント還元するキャンペーンの実施。

### 主な質疑

Q ポイント還元仕組みは。

A 市内の中小・小規模事業者の参加店舗でQRコードにより支払いをされた際、その決済事業者のポイントが、最大25%分、期間中の合計が最大5千円分を上限に消費



QRコード決済は簡単です

者に還元される仕組みを予定している。

Q スケジュールは。

A 6月から1〜2か月を予定。

Q プレミアム商品券事業と時期をずらすべきではないか。

A 国・県の経済対策の終了時期を見据え、間隔がひらかない時期を予定している。

### 感染症対策以外の事業

#### 水口社会福祉センター改修事業

4億円

社会福祉ホールの解体に伴い、60人規模の会議室の新設を含め、老朽化した内部の改装をするもの。



改装が待たれる水口社会福祉センター

合併特例事業債3億8千万円を計上するため補正予算で対応。

#### 碧水ホール・

#### 甲南プララ多目的ホール改修事業

1350万円

碧水ホールのフロアの張替えを福祉ホールの代替え機能として早

期整備、プララホールの空調整備を植樹祭に間に合わせるため補正予算の対応が必要。

### 主な質疑

Q 碧水ホールは、社会福祉ホールの代替え機能だが、現状の机やイスはかなり重い。変更が必要ではないか。飲食はできるのか。

A 机・イスの変更は必要であると考えている。また、福祉ホールと同様に飲食可能とする。

#### 道路新設事業 (内貴橋)

6185万円

国庫補助金の追加を受け、老朽化が著しい水口町・内貴橋の架け替えを、令和6年3月の通行可能に向けて、工事費用を増額するもの。



手前が現状、奥が建設中の橋



フロアの張替え、利用方法の見直しも必要な碧水ホール

# 11月臨時会・12月定例会議案審議・意見書

## 11月臨時会議案の審議結果

	提案者	全員賛成で可決した議案
人事	市長	甲賀市監査委員の選任につき同意を求めることについて
令和3年度補正予算	市長	令和3年度甲賀市一般会計補正予算(第7号)

令和3年度補正予算	市長	令和3年度甲賀市水道事業会計補正予算(第1号)
		令和3年度甲賀市診療所事業会計補正予算(第1号)
		令和3年度甲賀市介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)
		令和3年度甲賀市下水道事業会計補正予算(第1号)
条例の制定	市長	甲賀市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
		甲賀市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
		甲賀市保育園設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		甲賀市開発許可の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
その他	市長	甲賀市公民館条例の一部を改正する条例の制定について
		指定管理者の指定につき議決を求めることについて
		指定管理者の指定につき議決を求めることについて
意見書	小河	衆議院議員選挙制度における格差是正方式の見直しおよび地方の声を聞く抜本的な改革を求める意見書の提出について

## 12月定例会議案等の審議結果

	提案者	全員賛成で可決・意見・同意した議案
人事	市長	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
		甲賀市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
令和3年度補正予算	市長	令和3年度甲賀市一般会計補正予算(第9号)
		令和3年度甲賀市一般会計補正予算(第10号)
		令和3年度甲賀市一般会計補正予算(第8号)
		令和3年度甲賀市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
		令和3年度甲賀市介護保険特別会計補正予算(第2号)
		令和3年度甲賀市病院事業会計補正予算(第1号)

○：賛成 ●：反対

議案等の名称		討論		凜風会					誠翔会					公明党			日本共産党 甲賀市議員団			北田 麗子	福井 進	糸目 仁樹	結果					
提案者	賛成	反対	賛成	西田 忠	瀬古 幾司	西村 慧	林田 久充	橋本 恒典	谷永 兼一	田中 新人	橋本 律子	中島 裕介	奥村 則夫	小倉 剛	里見 淳	戎脇 浩	小河 文人	木村 眞雄	堀 郁子	田中 將之	西山 実	岡田 重美	山岡 光広	北田 麗子	福井 進	糸目 仁樹	結果	
				市長	谷永	岡田	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
山岡	岡田	西村	反対	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●	否
岡田	西村・田中新	戎脇・田中將	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●	可	

※田中喜克議員は議長のため採決に加わらない



### 専決処分

予算や条例などを市長が市議会の議決を経ずに自らの権限で決めることです。地方自治法で定めていて、緊急時で議会を招集する時間がない場合のほか、議会が議決すべき議案を議決しないといった時などでも認めています。処分後には議会でも報告して承認を求める必要がありますが、承認を得られなくても決定は有効とされます。

### 意見書

市の公益に関することについて、国会や国、府などの関係行政庁に対し、議会の意思をまとめて提出する文書のことです。政治的効果を期待して、議会の意思を対外的に表明するなどの理由で議決します。

# 総務常任委員会 日誌

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。



委員長 小河文人 副委員長 岡田重美 福井進・奥村則夫・瀬古幾司・西村慧・堀郁子・谷永兼二

■11月18日  
公共施設使用料の見直しに係る基本方針(原案)、防災マップの作成、甲賀市政に関する意識調査の結果、教育大綱の改正、行政手続等のデジタル化、第4次行政改革大綱アクションプラン(案)、土山地域市民センター等改修工事の進捗状況等

■12月16日  
情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定、市ホームページのリニューアル、地域別ブランドデザインの推進方針、令和4年度当初予算見積の状況等

## 委員会方針

本委員会の所管は、総務、総合政策部等です。議会の委員会の要として、総合計画や財政計画等々、市の将来に関わる重要な案件を審査します。本年より2年間の目標は、所管事務調査については、基本的には委員会主導で行いたいと考えています。調査については外部からの説明も積極的に求めていき、市民の暮らしに反映できるように進めていきます。また、議会の継続性の観点から、前期からの引き継ぎ事項にも積極的に取り組んでまいります。

## 所管事務調査

### 公共施設使用料の見直しに係る基本方針(原案)

公共施設の使用料について、将来にわたり持続可能な施設運営を見据えた適正な料金設定への見直しに着手することから、利用者の受益と負担のあり方等を明確化することを目的として定めるものです。

基本方針では、①受益者負担の原則に基づく算定方法の明確化、②減額・免除の基準の見直し、③コスト削減の取り組みと継続的な

見直しの3つの視点から使用料の見直しを進めるとしています。

## 主な質疑

Q 受益者負担は50%とのことだが、適正と言えるのか。

A 減価償却費50%は市で負担、残り50%を受益者の方で負担と考える。

Q 見直しにより使用料が上がれば市民活動に影響が出るのではないか。

A 市民活動への影響を最小限にするための取り組みは必要と考える。

## 現地視察

### 土山地域市民センター等改修工事

土山地域市民センターの改修、土山開発センターの改築工事が、11月中旬ほぼ完了したことから、視察を行いました。土山開発センターは1月9日より供用開始となっています。



改築された土山開発センター

## 付託議案審査

### 情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例制定

## 主な質疑

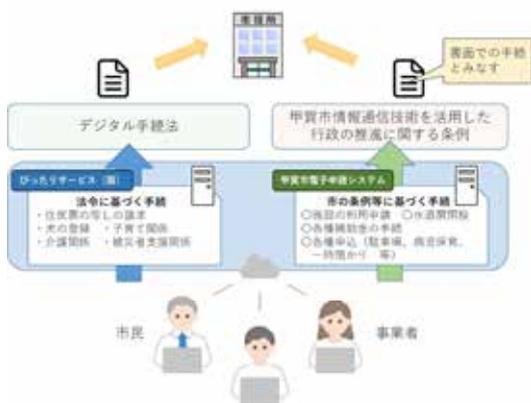
Q 電子署名は、マイナンバーカードを持っている人が対象か。

A マイナンバーカードに電子署名が搭載されたカードを持っている人が対象となる。

Q デジタルでの手続きが進むことにより、受付窓口や相談体制等が縮小されないか。

A 紙の申請を基本としており、縮小されることはないと考えている。

採決 討論ののち賛成多数で可決すべきものと決定



# 厚生文教常任委員会 日誌

市民の生活と福祉、医療介護、子育て、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。



委員長 田中新人 副委員長 戎脇浩 北田麗子・木村眞雄・中島裕介・山岡光広・橋本律子

■11月18日

水口保健センター等の整備、地域包括支援センターの委託、水口社会福祉センター等の整備、地域型保育事業所整備事業、交通安全計画(案)、人権総合計画【改訂版】(案)、教育大綱の改定等

■12月15日

病院事業会計補正予算・診療所事業会計補正予算・介護保険施設事業会計補正予算、自転車駐車場条例の改正、国民健康保険条例の改正、国民健康保険特別会計補正予算、保育園設置等に関する条例改正、公民館条例の改正、指定管理者の指定、地域医療審議会の経過、新型コロナワクチン接種、地域包括センターの委託、認定こども園の整備等

## 委員会方針

厚生文教常任委員会は、市民にとって身近な施策である、教育・福祉分野を担当する委員会です。市民の立場に立った暮らしやすい甲賀市を目指して「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり」子どもたちが健やかに育つ環境の整備」等の主要課題に力を注いでいく所存です。急速に進む少子高齢化と人口減少の問題等に対応するため市民の皆様の声にも耳を傾け、教育、スポーツ、健康福祉などについて、健全な行政運営のチェック機能として、役割を果たして行きます。

## 所管事務調査

**水口保健センター(水口地域包括支援センター)・水口子育て支援センターの整備について**

両施設は、老朽化が著しいです。そこで、それらを同一施設内に複合施設として整備し、「子育て世代包括支援センター」としての機能を強化します。新施設の1階は水口保健センター、2階は水口子育て支援センターとします。

## 主な質疑

**Q 利用者の要望を活かした設計なのか。**

**A** アンケートを取った。要望を活かされるよう検討を重ねる。

## 付託議案審査

### 自転車駐車場条例の一部改正

甲南駅北側に自転車駐車場を設置します。現地の交通安全上の理由から、当分の間、利用車両を自転車に限定します。

## 主な質疑

**Q 今後の駐車場整備と関連して、原付自転車が駐車可能になるか。**

**A** 令和4年度に駐車場用地買収の計画。駐車場整備に伴って、原付自転車も駐車可能としたい。その際、条例を再改正する予定である。  
**採決 全員賛成で可決すべきものと決定**

## 報告事項

### 地域包括支援センター委託

令和4年4月より信楽町から委託が開始されます。

## 主な質疑

**Q 信楽町から開始する理由は。**

**A** 高齢化率が市内でも著しく、独居・老夫婦世帯の割合も高い。介護・要支援認定率については最も高い。介護関連事業サービスが全体的に不足しているが立地的な問題により隣接町に支援・連携を求めることが困難であることから。

### 小規模保育園新たに3か所開園

0～2歳・定員19名の私立保育園が令和4年4月より開園します。

## 主な質疑

**Q 場所についての安全性はどうか。**

**A** 駐車スペース・避難経路、周辺環境の安全性は確保されている。地域住民への理解度も細かく審査対象とし、厳正に精査している。

**Q 待機児童解消に繋がるか。**

**A** 特に0～2歳児の入園希望者の受け入れを増やすことで、解消に近づいている。



# 産業建設常任委員会 日誌

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。



委員長 橋本恒典・副委員長 西田忠 西山実・糸目仁樹・小倉剛・里見淳・林田久充・田中将之

- 11月17日  
所管事業の概要と令和3年度事業の上半期の進捗確認、今後の所管事務調査の調査項目、第72回全国植樹祭等
- 12月14日  
開発許可の基準等に関する条例の一部を改正する条例について、市道路線の認定につき議決を求めることについて、令和3年度水道事業・下水道事業会計補正予算等

## 委員会方針

産業建設常任委員会は産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境を所管しており、まちづくりの重要な役割を担っています。

委員会では、2年間で重点的に取り組むテーマを当初に協議し、所管事務調査、視察研修、市民との意見交換を重ねながら、委員会代表質問等を通じて市への政策提言にもつなげたいと考えています。所管事務調査や現地調査については委員会で取り組むテーマを中心にを行います。また、広く市民の意見を聴くため、関係者や関係団体等と意見交換を行っていきます。



重点テーマのひとつ貴生川駅周辺整備事業

## 所管事務調査

11月17日、改選後の産業建設常任委員会における、所管事業の概要と令和3年度上半期の進捗状況を確認しました。

### 付託議案審査

### 開発許可の基準等に関する条例の一部改正について

市街化調整区域内の災害ハザードエリアにおける開発許可の厳格化。

### 主な質疑

Q ハザード内に建築物が約2千戸あるということだが既にお住まいの方、住居をお持ちの方にどのように転促進していくのかまた、周知はどうするのか。

A 災害の起きる危険な場所については国土強靱化の観点からも立地の適正化へ誘導していかねばならない。地元の広報誌や宅建業者等に周知しながら各市民に情報提供し、できるだけ危険なところから移動をお願いしたい。今後周知の対策についても広報していきたい。

採決 全員賛成で可決すべきものと決定

## 報告事項

### 第72回全国植樹祭について

令和4年6月5日に滋賀県で開催が予定されている「第72回全国植樹祭」の進捗状況について報告があり、甲賀市推進協議会の報告と会場周辺の間伐や道路整備等についてもその進捗状況を確認しました。

1月から県により式典会場となる鹿深夢の森の整備工事が実施されており、工事に伴い芝生広場等、利用が一部制限されます。



全国植樹祭イメージ

# 20人の議員が市の考えを問う

令和3年

12月8日・9日・10日・13日

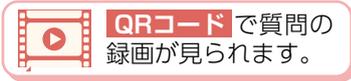
## 目次

### 令和3年 第7回甲賀市議会定例会一般質問（通告順）

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	いとめ 糸目 まさき 仁樹	1 ワクチン副反応情報の一般公開を 2 売値下落・経費高騰から農家を守る補助金を 3 市内中小企業への下請け促進政策を	10	おぐら 小倉 つよし 剛	1 消防団活動について 2 雪寒対策について 3 自治振興会と区長会の在り方
2	ほり 堀 いくこ 郁子	1 中学卒業までの医療費無償化 2 子どもを性被害(ブルーミング)から守るために 3 学習補助にデジタル教科書の導入を 4 キャッチアップ世代にHPVワクチン接種の勧奨を 5 視覚障害者へスマホで支援 6 LINE相談	11	ふくい 福井 すずむ 進	1 「公平・公正な福祉」の推進で、だれもがくらしやすい『まちづくり』を！～eこころステーションのとり組みを通して～ 2 「公平・公正な教育」の推進で、子どもたちがくらしつづけたい『まちづくり』を！～制服の見直し・防犯灯の増設のとり組み～
3	えびすわき 戎脇 ひろし 浩	1 人口減少対策の視点からの医療費無料化 2 水口中心市街地の雨水対策について	12	にしむら 西村 けい 慧	1 甲南統合認定こども園整備の進捗状況について 2 税制改正による市内の空き家の活用と除却の促進について 3 若い世代の「まちづくり参画」機会の創出について
4	おくむら 奥村 のりお 則夫	1 名神名阪連絡道路について 2 茶業振興について 3 現在の新型コロナウイルス対応とその後について	13	たなか 田中 まさゆき 将之	1 選ばれるまち「甲賀」をどう創り上げるか 2 災害時における聴覚障がい者への情報伝達について
5	きむら 木村 まさお 眞雄	1 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について何う。 2 安全な通学路の整備について問う。 3 災害時における要支援者の避難支援計画の取り組みについて 4 HSC(ハイリー・センシティブ・チャイルド)への支援について	14	せご 瀬古 いくじ 幾司	1 上水道管 管路の更新について 2 定住促進のための住宅支援制度について 3 移動販売モデル事業と自主運行支援事業について
6	なかじま 中島 ゆうすけ 裕介	1 「第二次甲賀市観光振興計画に向けた取り組み」について 2 「第72回全国植樹祭」開催に向けた課題について	15	はしちと 橋本 りつこ 律子	1 甲賀市まちづくり基本条例の見直し等について 2 貴生川駅周辺特区構想の戦略ビジョンづくりについて
7	やまおか 山岡 みつひろ 光広	1 新年度予算編成に市民の切実な願いを 2 学校図書館整備5カ年計画の最終年にあたって課題を明確に 3 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)に対する支援について 4 甲南なかよし児童クラブの入所希望増・定員超過にどう対応するのか 5 灯油価格高騰の中で、「福祉灯油」等、市民と福祉施設への支援策を	16	たなか 田中 あらと 新人	1 農業の振興について 2 一級河川泉川浚渫について
8	おかだ 岡田 しげみ 重美	1 自立支援医療(精神通院医療)の負担軽減を 2 介護保険改正による施設の食費負担増の軽減を 3 市内小中学校、公共施設のトイレに生理用品の配備実現を 4 地域交流の場、避難所として早期に六友館の増築を	17	はやしだ 林田 ひさみつ 久充	1 濁り水発生からの教訓について 2 貴生川駅周辺整備基本構想の策定体制等について 3 棚田地域振興法による甲賀市の取り組みについて
9	にしやま 西山 みおる 実	1 水口城資料館に渡る木製の橋の修復について 2 52年が経過し老朽化した水口中央公民館の建て替え計画、並びに旧体育館の解体の計画について 3 水口旧東海道の公衆トイレの整備について	18	にしだ 西田 まこと 忠	1 名神名阪連絡道の観光・商用面での活用ビジョンについて 2 伴谷地区の通学路の安全対策について
			19	きただ 北田 れいこ 麗子	1 ハチについて
			20	おがわ 小川 ひみと 文人	1 甲賀市小中学校教育等について見解を問う 2 公共交通の空白地域対策について

#### ■答弁者の凡例

総合政策部理事	総政理事	こども政策部長	こ政部長	産業経済部長	産経部長
健康福祉部長	健福部長	総合政策部長	総政部長	産業経済部理事	産経理事
危機・安全管理統括監	危機統括監	市民環境部長	市環部長		



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

糸目 仁樹  
無所属



**Q** ワクチン副反応情報の公開を  
**A** 国・県の動向を見ながら

**Q** コロナワクチンの副反応について不安を感じ、集団接種会場でこれまで見て来た副反応情報について知りたいと言う市民は少なくない。また、ワクチン接種後に死亡した事例もあるとの噂を複数聞かすが、これは事実か。



厚労省の公開する副反応情報

**健福部長** 本市内でワクチン接種後に亡くなった事例は承知をしているが、ワクチン接種が原因と判断できる方はいないと認識。副反応等の情報公開の市民ニーズはあると思うが、市の把握する症例だけでは正しい判断にならない懸念から、国・県の動向を見て検討する。

**Q** 市内企業への下請け促進のため、市内企業情報共有の場を作れないか。

**産経部長** 市内企業の情報収集を進め、それが共有できるよう関係団体に働きかける。

堀 郁子  
公明党



**Q** 中学3年生までの医療費無償化は  
**A** 4月からは難しいが早急に開始

**Q** 中学3年生までの医療費無償化開始は4月か。所得制限は無いが良いがどうか。

**市環部長** 4月は難しいが早急に開始。制限は検討。

**Q** 子どもを性被害グループミングから守るための対応は。手口を詳しく周知を。学習補助にデジタル教科書の導入を。

**教育部長** 安全教室の学習に取り入れる。デジタル教科書は検討を進める。

**Q** キャッチアップ世代にHPVワクチンの接種勧奨の周知は。視覚障がい者へスマホで支援を社会全体でできるよう周知しては。

**健福部長** スマホ教室の開催。各種の情報発信に努める。

**Q** アプリ信GOに対応する信号機を要望しては。

**建設部長** 県内の導入予定ないが注視する。

**Q** ライン相談は。

**健福部長** 包括的専門的な相談ができるよう構築に向け検討。



戎脇 浩  
誠翔会



**Q** 中学生までの医療費完全無料化を  
**A** 来年度予算編成時に具体的検討

**Q** 福祉の基本は「弱者により手厚い支援を」が基本であると考え。その意味では負担できる方々には応分の負担を求めることが必要である。一方、人口減少対策として選ばれるまちであるためには、わかりやすく思い切った施策が必要である。現状の所得制限を撤廃し、中学生までの医療費を完全に無料化し、子育てのしやすいまちとして、移住定住策としてシティセールスに役立ててはどうか。

**総政部長** この施策を魅力ある施策の一つとして、多胎妊婦健診助成などとともにパッケージ化し、市内外に発信することにより、移住定住を促すことがシティセールスの役割と考える。

**Q** 一気に来年度に完全無料化すべきと考えますが、市長の見解はどうか。

**市長** コロナ禍においてこれまで以上に移住定住に関心が集まる中で、選ばれたまちの実現に向けた子育て支援策の一つとして、早急に取り組むべきと考え、次年度予算編成の中で検討するよう指示する。



甲賀市立の診療所もご利用ください

## 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

奥村 則夫  
誠 翔 会

**Q** 名神名阪連絡道路の早期事業化を早期整備を強く訴えていく

**現状と見通しについて。**

**建設部長** 事業化にむ

けて、環境影響評価や都市計画決定等の準備がすすめられる。

**Q** ルート選定にあたって、地元の意見聴取と方法について。



名神名阪連絡道路の概要

**建設部長** 大局的な観点からルートを絞ることとなるため、沿線地域において広く意見を集め、集約される見込み。

**Q** 第74回関西茶業振興大会の開催の支援について。

**市長** 関係機関と連携

を密にし、本市はもとより関西の茶業に大きく寄与する大会になるよう取り組みを進めていく。



前回関西茶業振興大会

**Q** 茶の有機農業の支援について。

**産経理事**

有機農業の推進は十分な状況ではないと認識しており、農家や関係機関などの意見を聞き、最適な支援方法を検討する。

木村 眞雄  
公明 党

**Q** HSC児童の理解や支援について  
**A** 個に応じたきめ細やかな支援を

**Q** 学校でHSC(繊細・過敏な児童)について、情報周知は行われているか。また、今後、どのような支援をするか。

**教育長**

HSCは社会一般では、まだ十分認知されてなく、特化した情報周知は行っていない。しかし、教育相談やカウンセリングの進め方、集団指導での対応の配慮など、HSCに関する学びの場はある。全ての子どもたちが、自己肯定感を高め、互いに認め合い、幸せを感じられるように、一人ひとりの状況や課題に対する理解を深め、個に応じた指導、支援に努める。

**Q** 大原市場交差点の安全対策について。

**建設部長**

用地協力が必要。早期の対策は困難。「子どもの移動経路安全プログラム」に基づく合同点検で、県や学校等と共に可能な対策を検討する。

**安全対策について精査検討している。今後**

も市内全域において、危険箇所が減少するよう精力的に進めていく。



大原市場交差点

中島 裕介  
誠 翔 会

**Q** 全国植樹祭開催に向けての取組み  
**A** 県と連携し万全のおもてなし

**Q** 全国植樹祭に向けての課題について伺う。

**Q** 道路交通対策について。

**産経理事**

会場の周辺道路は交通規制が実施されると共に、迂回路が設定され、影響の出る地域の皆様への周知に努める。

**Q** 式典内容について。

**産経理事**

天皇皇后両陛下にご臨席いただき挙行される記念式典となり、緑の少年団は介添えや苗木贈呈を担う。水口囃子に始まり、未来へつなぐをテーマとした和太鼓とダンスパフォーマンスが催される。

**Q** 開催に向けての市民のおもてなしについて。

**市長** オール甲賀

盛り上げ事業を実施しており、植樹祭に合わせ美化活動等に取り組み、県と連携を図りながら、万全の体制でおもてなしが出来る様、市民の皆様方の機運の醸成も含め、十分な準備をすすめる。



植樹集合写真 (鹿深夢の森)

後援会が選挙区内に花輪・香典・祝儀などを出すと処罰されます。



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

**山岡 光広**  
日本共産党



**Q** 中学校卒業まで医療費無料化を  
**A** 新年度予算で具体化する

**Q** 中学校卒業までの医療費無料化、二気候非常事態宣言、75歳以上高齢者の「人間ドック」補助復活、PCR検査の拡大を。

**市長** 中学校卒業までの医療費無料化は、子育て・健康・福祉・医療など総合的な観点から新年度予算で具体化（異常気象問題では）本市独自の「宣言」が必要、効果的な時期を見極め「宣言」を行い具体策について検討していく。

**Q** ストーマ（人工肛門・人工膀胱）装着の人が増えている。日常生活用具給付事業で患者負担軽減が講じられているが、器具交換の際に必要なガーゼや洗剤は給付対象外（自己負担）となっている。給付対象に加えるべき。

**健福部長** ストーマ装具は、日常生活をおくるうえで必要不可欠な用具。次年度に向けて給付対象品目を見直す。



**Q** ガーゼや洗剤は必需品では…。

**健福部長** 必需品と認識している。

**Q** 「学校図書館整備五カ年計画」最終年の到達と課題。特に地方交付税を生かし各校の図書整備と司書の増員を。

**総務部長** 交付税算定は総額4513万5千円、支出予算は1533万1千円。

**教育部長** 現場の要望を聞きながら検討。

**岡田 重美**  
日本共産党



**Q** 精神通院医療の負担軽減をすべき  
**A** 自己負担の助成など県で検討中

**Q** 自立支援医療（精神通院医療）は経済的・精神的に負担。市独自の助成など軽減策を。

**市環部長** 県において精神障害者の自己負担の助成などが検討されているところ。市独自の助成は考えていない。

**Q** 6月議会で学校トイレの生理用品配備に前向きな答弁であった。全学校で配備の実現を。

**教育部長** 検討した結果、トイレへの配備は行なわないこととした。保健室での対応とする。

**Q** 山内公民館の老朽化もあり、交流の場、避難所として六友館増築の要望があるがどうか。

**総政部長** 第1期行動計画において、六友館増築について検討。

**Q** 8月より介護保険施設の食費の見直しはされ、ひと月2万2千の増となる人もいる。市で負担軽減すべき。

**健福部長** 社会福祉法人の軽減事業などを周知している。市独自の軽減は考えていない。

	施設入所者		ショートステイ利用者	
	7月まで	8月から	7月まで	8月から
年金収入など 80万以下	390円	390円	390円	600円
80～120万以下	650円	650円	650円	1,000円
120万超	650円	1,360円	650円	1,300円

介護保険改正による食費の負担限度額見直し

**西山 実**  
日本共産党



**Q** 水口城資料館に渡る木橋の修復を  
**A** 木橋診断士による検査により判断

**Q** 10月1日より老朽化のため通行止めになっている木橋の改修の見直し、また、休館になっている水口城資料館の再開の見直しは。

**教育部長** 木橋診断士による検査を受け適切な改修を検討する。水口城資料館は西門を通じて入館できるよう関係者と調整し早期に再開する。

**Q** 水口中央公民館の立て替え計画、並びに旧体育館の解体の計画は。

**教育部長** 水口中央公民館周辺を一体的に整備し、地域の拠点として再整備する方向性。年明けに地域関係者との協議を準備している。

**Q** 本水口の公衆トイレの修繕と多目的トイレなど洋式トイレの設置を。

**建設部長** 壊れている箇所の修繕は早急に実施する。洋式トイレへの改修は、市内各所でトイレ整備の必要性があり難しい。



水口城資料館に渡る木橋

## 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

小倉 剛  
誠 翔 会

Q 消防庁長官通知について

A 研究し取り組みができるよう考える

Q 消防庁長官通知について

危機統括監 提案いただいた消防団活動の協力企業への支援策、協力企業が入札に参加される際に協力企業に消防団員が従業員としておられる場合は、入札の参加資格に加点を行っている。また県内でも消防団協力事業所表示制度などを行っているところもある。本市としても、消防団協力事業所表示制度について、研究をし、取り組みができるよう今後考えていく。



消防出初式

Q 雪寒対策・連絡体制は。

建設部長 連絡体制については、24時間対応できるような体制をとっており、市民の方からの通報等の際には、平日の勤務時間中は担当課から委託業者へ連絡を行い、勤務時間外についても宿日直を通じて担当職員へ連絡がとれる体制となっている。

建設部長 連絡体制については、24時間対応できるような体制をとっており、市民の方からの通報等の際には、平日の勤務時間中は担当課から委託業者へ連絡を行い、勤務時間外についても宿日直を通じて担当職員へ連絡がとれる体制となっている。

福井 進  
無 所 属

Q 公平・公正な福祉・教育の推進を

A オール甲賀でとり組みたい

Q 真つ暗な道を通学

する高校生や送迎等に苦しむ保護者、バリアが気になる防災士、困窮世帯を支えるボランティア等のみなさんの声、公平・公正な福祉・教育の推進で、誰もが暮らし続けたい『まちづくり』について。

市環境部長 本年度は防犯灯を1つ増設し、水口橋歩道の防犯灯は、県に要望する。市長 オール甲賀で「まちづくり」を進める。教育長 公平・公正な教育の推進に努める。市民と共に『福祉・教育』の推進にとり組む市職員・教職員の『職場づくり』について。副市長 ハラスメントの防止等、民主的な職場づくりにとり組む。教育長 多忙化の解消、講師の確保等にとり組む。



街灯がなく冬は凍結する水口橋歩道

西村 慧  
凜 風 会

Q 甲南認定こども園整備の今後は

A 令和6年4月開園をめざし全力で

Q 甲南認定こども園整備候補地の報告時期は。

こ政部長 令和4年明けのできるだけ早い時期に議会等に報告を行いたい。

Q 本市の空き家の戸数(最新)は。

建設部長 10月末現在で約1460件。

Q 将来に負担を残さない為、行財政改革徹底の後、空き家への法定外目的税導入の選択肢は。

建設部長 空き家にかかる税法上の取り扱い

は、国が導入を図るべきと認識している。

Q 空き家の除却促進の為、住宅用地特例の解除後も固定資産税の減免措置を継続してはどうか。

総務部長 国の動向を注視し、判断したい。

Q 若い世代の『まちづくり参画』の必要性の認識は。

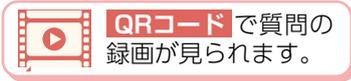
市長 持続可能な地域経営において極めて重要である。

Q 若者が政策形成過程に参画する仕組み創設はどうか。

総政部長 「若者会議プロジェクト」を検討している。



若者議会 (愛知県新城市)



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 將之  
公明党



**Q** 選ばれる甲賀をどう創り上げるか  
**A** シティセールスの考え方を再定義

**Q** 自治体におけるシティセールスということが全国の行政計画に盛り込まれて久しい。「選ばれるまち」を自治体が競い合うということが今後も続けられている。市の総合計画実施計画ではシティセールスのターゲット(目的)は、どう定めているのか。シティセールスは、



まちに住む人やまちに関わる人たちの、想いと働きを生み出す道具。この仕掛けによって、想い・意欲を持った、まちに住む人たちが関わる人たちが動き出し、役所では担えない様々な人を幸せにする仕組みや、まちの困ったことを解決しようとする動き出す。市としてシティセールスのプラン作りが必要では。  
**総政部長** 今シティセールスの考え方を再定義のうえ、市民、議会等と共有するとともに、具体的なプランとなる実施計画において明確な事業を位置付ける。

瀬古 幾司  
凜風会



**Q** 水道管更新にAI劣化診断導入を  
**A** 技術導入に向けた研究を進める

**Q** 上水道管の更新判断に、AIによる劣化診断など最新技術を使う予定はないのか。

**水道部長** 導入自治体、また実証実験実施自治体の事例を確認しながら、技術導入に向けた研究を進める。

**Q** 新生活支援補助金を、移住定住促進のため、さらに有効な制度に見直す考えはないか。

**総政部長** 国の結婚新生活支援事業を活用した補助金であり、現行制度の中で見直すことは困難。近年、若い世代を中心に地方移住に関心を持つ方が増えていることより、これまでにならぬ一歩踏み込んだ施策が必要であると考えている。

**Q** 移動販売モデル事業の改善は。

**健福部長** 地域によりばらつきがあり、場所変更等地域の皆様のご意見を聞きつつ利用促進に努め、今後は交流の場としても活用出来るよう工夫していく。



移動販売の様子

橋本 律子  
凜風会



**Q** 空き地管理の適正・制度化を問う  
**A** 管理不全地を国・県と連携し検討す

**Q** 市内の空き地管理の苦情等現状は。区では大きな課題である。

**市環部長** 除草についての苦情が年間200〜300件。その都度通知文書を送付。

**Q** 管理や指導はどうか。

**総政部長** 現場の繁茂状況を確認し、所有者に文書送付・記録している。多大な費用と時間がかかり全国的な課題だ。

**Q** 所有者不明土地特別措置法の視点や湖南市の条例の例から条例化も必要では。今後の対応は。

**総政部長** 措置法は施行されて3年で、国で管理の仕組み見直しを、湖南市の条例も罰則はなく除草委託を示しているが、年間60件は、課題がある状況ときく。今後より効果的な方法を検討する。



自治区で課題がつづく空き地

## 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

田中 新人  
凛風会

**Q** 甲賀市の農業の将来像と実現は  
**A** 住み続けられる持続可能な農業実現

**Q** 甲賀市の農業戸数の現状は。

**産経理事** 2020年センサスでは総農家数2206戸、販売農家1449戸で減少傾向だ。

**Q** 甲賀市の農業将来像は。

**産経理事** 安全で安心な農産物の供給と担い手の確保。消費者ニーズ対応農産物の地産地消を推進し、人々が住み続けられる持続可能な農業実現。

**Q** 農業用機械修理補助金は。

**産経理事** 農業機械購入に際しての補助金はありますが農業機械の修理に関するものはない。

**Q** 給食パン食に甲賀市産小麦を使用できないか。

**教育部長** 来年4月から滋賀県産小麦100%使用予定で地産地消の観点から甲賀市産小麦を提案する。

**Q** 泉川の浚渫は。

**建設部長** 国の浚渫事業債を活用し、最下流部から浚渫を行い現時点では予定はない。河川側面樹木は、護岸に影響とか流れを阻害する樹木は順次撤去。



一級河川泉川上流状況

林田 久充  
凛風会

**Q** 貴生川駅周辺整備基本構想策定は  
**A** エリアプラットフォームを設置する

**Q** 基本構想策定は、どのような場で議論を進めるのか。

**建設部長** 様々な立場の住民、企業、各種団体や女性、若者、学識者、都市計画や建築の専門家、金融機関などでまちづくり協議会的なエリアプラットフォームホームの設置を予定している。

**Q** 「貴生川みらい会議」の提案、要望に対する認識は。

**総政部長** 今後、構想実現に向けて、ふさわしい都市機能の検討の中で参考にする。

**Q** 道の駅「きぶかわ」の提案をどう考えるか。

**産経部長** 貴生川駅周辺特区構想にふさわしい事業であるか、あらゆる角度で検証する。なお、土山にある道の駅は、現在の場所で再整備を検討している。

**Q** 貴生川駅周辺も含め、県高等専門学校に対する市の考えは。交通利便性も重要と聞くが。

**総政部長** 県が進めている高専の誘致は特区構想の目的に合致している。市としての考えを示しつつ、県に粘り強く働きかける。



貴生川駅南口周辺

西田 忠  
凛風会

**Q** 伴谷地区の通学路の安全について  
**A** 対策内容を検討していきたい

**Q** 伴谷地区の交通量調査の数字は。

**建設部長** 滋賀県が平成27年に行った調査によると、春日交差点付近において、7時からの12時間交通量は7733台となっている。

**Q** 伴谷小学校の通学路は主に3ルートあるがそれぞれのルート上にある次の交差点、春日、伴中山北、伴谷幼稚園前を通る児童数は。

**教育部長** 春日交差点は181人、伴中山北交差点は166人、伴谷幼稚園前交差点は74人である。

**Q** 春日交差点について学校近辺に準ずる手厚い安全対策が必要ではないか。

**建設部長** 県では原則として12時間の交通量が一万台を超える箇所について優先的に整備を行っている。通学路の安全対策の観点から、子どもの移動経路安全プログラムに基づく合同点検において、道路管理者である県とともに対策内容を検討していきたい。



朝の春日交差点



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

北田 麗子  
無所属



**Q** エピペンの普及を  
**A** 普及は適切ではない

**Q** ハチについて。市内被害状況は。

**市環部長** 調査は実施しておらず、把握していない。

**Q** ハチの巣駆除対策の実施を。

**市環部長** 今後他市の取り組みを参考に検討する。

**Q** アナフィラキシーショックに対する住民理解は。

**市環部長** アレルギー反応の中でも短時間で生命の危機に瀕する状態となることから、今後アレルギーに関する正しい情報の周知方法を検討する。

**Q** エピペンの普及を。

**市環部長** 医師が処方し、本人が管理・注射することが基本のアドレナリン自己注射であることから市民への普及は適切でないと考える。

**Q** ハチも生態系の一部、市の共生社会の見解を問う。

**市長** 毒を持つ虫も益虫という側面があり、自然豊かな甲賀市を未来に継承するためにも動植物それぞれの役割を理解し、共存を目指したい。



アドレナリン自己注射「エピペン」

小河 文人  
誠翔会



**Q** 信楽文教ゾーン整備構想について  
**A** 本市の考えを関係者に説明する

**Q** 市民から指摘を受け質問、教育長と議員が親子関係にあることに対して問う。

**教育長** 市民の皆さまの眼差しを常にしっかりと受け止め職務遂行に取り組む覚悟である。

**Q** 信楽小学校の危険度の認識について問う。

**教育長** 甲賀市小中学校施設長寿命化計画の現況調査結果、2年度に実施した施設の耐力度調査の結果からも、躯体の老朽化が進んでいることを認識している。

**Q** 今後の対応についての考えを問う。

**教育部長** 市道「神輿道」や「信楽にこここ園」も含めた、いわゆる信楽文教ゾーン全体の配置を踏まえ整備計画の策定と財源の手当等調整を図り進めていく。

**Q** バス路線がない地域公共交通対策について問う。

**建設部長** 令和5年度を目途に市内公共交通網の再編を検討していく。



空から見た信楽文教ゾーン

毎日新聞近畿市町村 広報紙コンクール

奨励賞



受賞した8月号表紙

第33回近畿市町村広報紙コンクール（毎日新聞社、毎日文化センター主催）で、応募75件の中から「甲賀市議会だより」が奨励賞に選ばれました。講評では、「表紙写真が親しみやすいこと、一般質問を読みやすく工夫しQRコードで動画にリンクさせていること、特集の高校生モニターが若い人へのアプローチになっていることなどが評価されました。課題として、まだまだ文字が多く、内容をかみくだいてわかりやすくする工夫が必要だと指摘を受けました。これからは市民のみなさんにとって親しみやすい、読みたくなる市議会だよりを目指していきます。」





## 議員の活動

# 市議会・議員は 何しているの？

新型コロナウイルス感染症の拡大により、我々も様々な変化を強いられました。しかし、どのような状況でも市議会や議員は市民のため活動を行っています。

ここでは、市議会議員が普段どのような公務や議員としての活動を行っているのか、お伝えしたいと思います。



常任委員会は担当する事務を調査する権限を持っています。市より提案された議案の審査とは違い、常任委員会が自主的にテーマを設定し調査を行います。

### 所管事務調査

議員研修や先進地視察のため他の自治体へ行き、種々勉強をしています。

### 視察研修

#### 議会閉会中

視察研修  
所管事務調査

#### 議会閉会中

甲賀市議会業務継続計画（BCP）の発動要件で、大規模災害時における迅速な機能回復を図るため設置されます。最近では新型コロナウイルス感染症対策の時に設立されました。

### 議会BCP （甲賀市議会災害対策会議）

議会をスムーズに運営するため定例会の日程や、議案の取扱い、本会議の進行などを協議する委員会です。

### 議会運営委員会

本会議・委員会が円滑に運ぶように各党派間の連絡、調整および協議を行うために設置されています。

### 会派代表者会議

議会が始まる  
ときには



市の施策や方針について、議員個人が質問したり提言することを一般質問といい、常任委員会や会派を代表して質問することを代表質問といいます。

### 一般質問・代表質問

最終本会議では、議案に対する採決を行います。

### 本会議

本会議  
議案の提案（市長・議員）  
提案説明（市長・議員）  
議案に対する質疑（議員）  
所管の委員会へ付託  
一般質問

本会議で直ちに採決する場合もありますが、より専門的な審査をするため、所管の委員会に議案を付託します。



#### 本会議

委員会

補足説明
質疑・答弁
討論・採決(委員)

委員会では付託された議案や請願について詳しく審査します。質疑、討論を経て、委員会としての賛成・反対を決定します。



常任委員会

総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。

厚生文教常任委員会

市民の生活と福祉・文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

産業建設常任委員会

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。

予算決算常任委員会

予算および決算審査を議長を除く全議員が審査をする委員会です。

本会議

審査報告(委員長)
報告に対する質疑(議員)
討論・採決(議員)
可決
否決

委員会での審査報告を受け、他の委員会に属する議員が質問します。



採決風景

今期から新たに設置された

広報広聴委員会 始動

広報広聴委員会がスタートしました。従来の紙媒体の議会だよりに加え、インターネットのSNS発信等で幅広い年齢層に情報発信していく予定です。また、市民の声に耳を傾ける広聴活動に議会全体で取り組みます。

高校生モニター会議の経験を生かし、継続的な読者モニターでわかりやすい紙面にしていきます。



リアルタイムに発信します。

議会報告会を、従来の議会での活動を報告する議会報告会から、広聴の概念をもった意見交換会に変え、テーマを絞って意見交換し、そこで出た課題を持ち帰って所管する委員会で議論し、議会提案として市政にいかしていきます。

報告会から意見交換会へ



# 組合議会報告

## 甲賀広域行政組合議会

### 令和3年第4回臨時会

(11月26日)

臨時会が開会され、新たに正副議長の選挙と監査委員の選任の同意を行いました。

議長 田中 新人(甲賀市)  
副議長 赤祖父裕美(湖南市)  
監査委員 小河 文人(甲賀市)



左から里見淳・小河文人・田中新人・山岡光広・西村慧

### 令和3年第5回臨時会

(12月23日)

令和3年度甲賀行政組合一般会計補正予算(第4号)

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1065万円を減額し歳入歳出予算の総額を46億5124万4千円とするものです。

#### 提案理由

清掃手数料、市指定ゴミ袋収入等歳入見込み及び歳出における事業の見直し、契約の確定等により歳入歳出予算の補正措置を行うものです。

#### 採決 全員賛成にて可決

#### 全員協議会

● 議会の委任による専決処分(報告(衛生センター敷地内の倒木事故))

● 本組合議会会議規則、申し合わせ事項について

● 一般質問の中で一括質問・一括答弁方式を分割質問・分割答弁方式も選択可能と決定。

#### ● 衛生関係の概要説明

基幹的設備改良工事の概要説明  
衛生関係の課題の説明(水銀問題・民間委託)がありました。



衛生センターの中央操作室

## 公立甲賀病院組合議会

### 第3回臨時会(11月26日)

臨時会が開会され、新たに正副議長の選挙と監査委員の選任の同意を行いました。

議長 望月 卓(湖南市)  
副議長 戎脇 浩(甲賀市)  
監査委員 堀田 繁樹(湖南市)



左から瀬古幾司・橋本律子・戎脇浩・田中將之・西山実

### 公立甲賀病院組合概要説明会

臨時会同日、公立甲賀病院組合の概要、及び地方独立行政法人制度の概要等の説明会が主に新人議員を対象に開催されました。

① 公立甲賀病院組合の概要について

② 公立甲賀病院組合議会運営にかかわる申し合わせ事項について

③ 令和2年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算及び令和3年度公立甲賀病院組合一般会計予算について

④ 地方独立行政法人制度の概要及び第1期中期目標等について  
病院経営が地方独立行政法人化されたことにより、組合議会に関わり方、予算決算等の内容に大きな変化があり、その内容を中心に説明がなされました。

また、病院経営の中期目標の内容、今後の報告や議決のあり方等について、新たに選任を受けた議員向けに説明が行われ、継続の議員を含め全員出席により、理解を深めました。



地方独立行政法人公立甲賀病院

シリーズ  
「あなたとつなぐ」

このたび、議会だよりのタイトル「あなたとつなぐ」をテーマに、市民の皆様の活動を広報広聴委員会で取材し、ご紹介させていただきます。

かぶか21  
子ども未来会議

# 子ども議会



## 子ども議会のはじまりと目的・構成

子ども議会のはじまりは2011年。21世紀を担う子どもたちが、市民とふれあい、こうかの伝統・自然・文化・産業などを学び体験する中で自ら考える力や行動する力を引き出すことを目的に、そこから得た知見を市に提案する場として子ども議会を開催されています。

市内の小学校5年生から中学校3年生までの児童・生徒約20人強で構成され、その中から議長を選出し議会を行っています。(今年はコロナ禍で11人)



## 活動の流れ



5月 議員募集

6月 任命式

市長、教育長、議長も参加します

6～11月 地域視察 ワーク

市内のいろいろな所へ視察に行き、まとめのワークをします

年明け1月 子ども議会

議場にて市長、副市長、教育長、その他執行部が参加し、子ども議員の質問に答弁します  
今までに全質問を暗記して、のぞんだ強者も2人おられます

2月 ファイナルキャンプ



すごいです

## 子どもたちの成長

- 人前で話す度胸がついた
- 11年間で子ども議員OBが高校生・大学生となり、リーダーとなって子ども議会の活動を手伝ってくれている
- 学年や各小中学校をこえた縦や横の子どもたちのつながりができた



## 子どもたちの提案が実現

- 信号機の歩行中の時間を長くできた (ハズイ近くの信号)
- コミバスの無料乗車の年齢を80歳から75歳に引き下げ
- 図書館で漫画の貸し出し
- 買い物困難な地域の移動販売





# かふか21 子ども未来会議

# 子ども議会の皆様



かふか21子ども未来会議 任命式

## 緊張する議会中

子ども議会リハーサル風景



## 議会を進行する議長の大役を立派に！

## 素晴らしい質問の数々



## 取材後記

質問項目・内容の素晴らしさに感嘆しましたが、それまでの視察やワークの取り組みをお聞きして納得できました。堂々と自信にあふれて発表される姿に甲賀市の未来の希望を感じ、大きな期待で胸がいっぱいになりました。

## 編集後記

▶新たに設置された広報広聴委員会広報部会での初めての発行となります。改選後ということもあり、10人中6人が初めての委員です。市民の皆さんと双方向でつながる議会だよりとなるよう、新しい視点で取り組みます。▶議会活動が、長引くコロナ禍での新しい生活様式、新しい豊かさにつながるが、議会だよりが役割の一端を担えればと考えます。▶市民の皆さんにより親しんでいただける紙面作りに励みます。ご意見などお寄せいただければ幸いです。

(広報部会 谷永兼二)

## 議会の傍聴ができます。

本会議と委員会は誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は議会事務局までお問い合わせください。ネット中継もしています。

## 3月議会の予定

- 2月17日 9時30分～ 本会議(第1日)議案上程・提案説明・施政方針
- 3月1日 9時30分～ 本会議(第2日)代表質問
- 3月3日 9時30分～ 本会議(第3日)議案審議・付託等
- 3月4日 9時30分～ 本会議(第4日)一般質問
- 3月7日 9時30分～ 本会議(第5日)一般質問
- 3月8日 9時30分～ 本会議(第6日)一般質問
- 3月 9・10・11・14・15 16・17・18日 9時30分～ 委員会
- 3月25日 9時30分～ 本会議(第7日)委員長報告・質疑・討論・採決

2月						
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月						
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

## カメラの



1月9日に挙行された成人式での友達に会ってうれしそうな新成人の一コマです。今年の成人式対象者は住民登録数で919名です。長引くコロナ禍で、昨年同様にコロナ感染防止対策で会場を分散しての式典となりました。新しい門出を祝福し、将来を激励するとともに、一人ひとりが次代の社会を担う新成人としての自覚を新たにさせていただく機会となったことでしょうか。おめでとうございます。今年の4月からは18歳で成人となります。



(写真撮影 谷永兼二委員)